

参考資料編

「学芸大学駅周辺地区整備構想/平成 19 年 3 月/目黒区」で示した地区の将来像、8 つの街づくりの目標、3 つ柱で街づくりの方針は以下のとおりです。

◆地区の将来像

(これからの街づくりにおいて皆でともに目指していく将来の地区の姿)

にぎわう商店街、オアシス碑文谷公園、閑静な住宅地の
広がり、生活を大切にする 安全・安心なまち

学芸大学駅周辺地区は、交通の便に優れた成熟した街であり、4 本の幹線道路で囲まれた地区内には歩いて暮らせる街の要素があります。

新旧の融合を図り世代交代を繰り返しながら、お年寄りから子どもまで多様な世代が住み続けたいと思う街の形成を目指すためには、皆が、地区の資源の大切さに気付き、今ある資源を守り、活かすとともに、問題を解決し、新たな魅力を創造していく街づくりが必要です。

そこで、学芸大学駅周辺地区の街づくりは、“生活を大切にする”ことを念頭に、

『一、 駅周辺の「にぎわう商店街」』

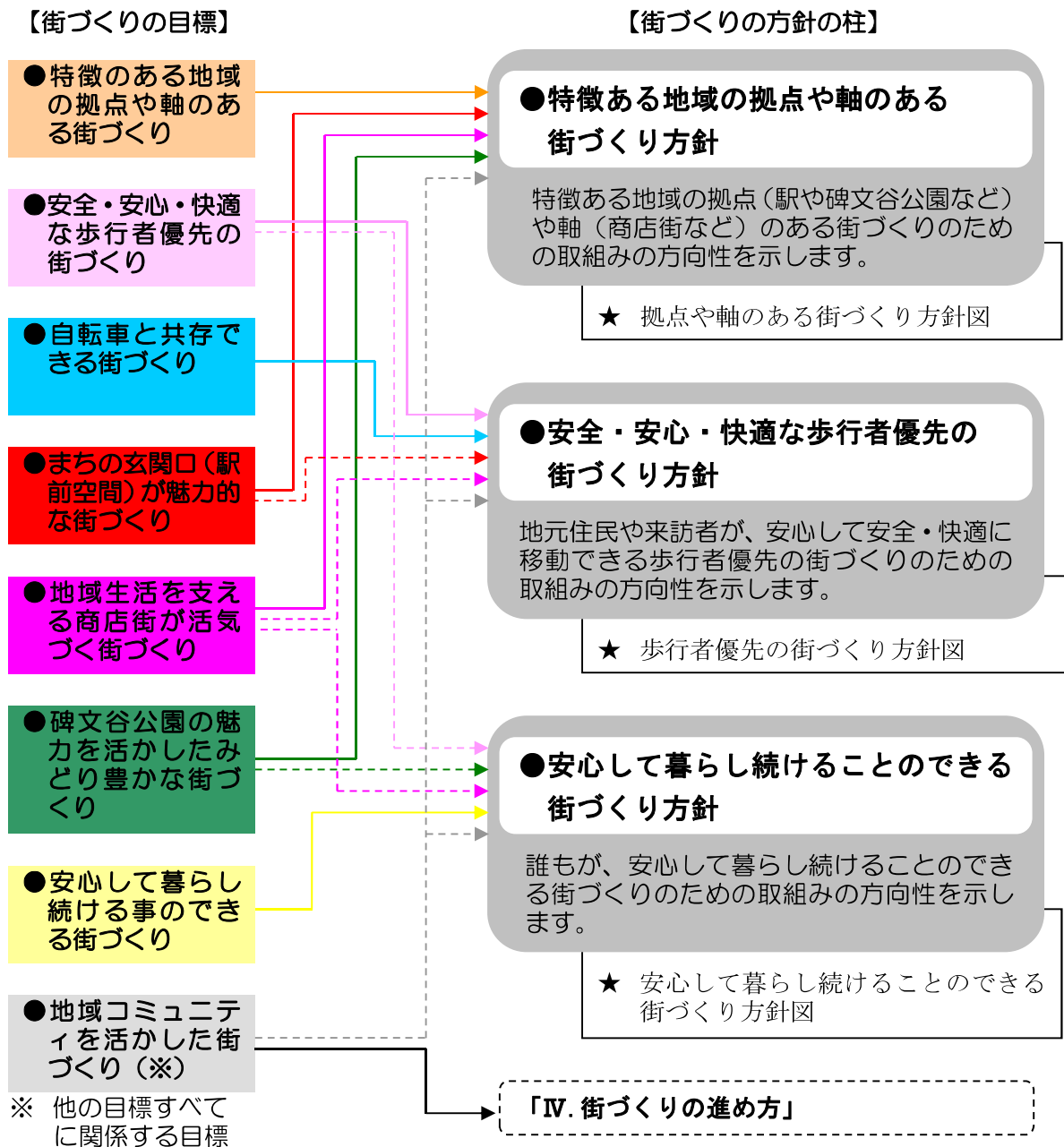
『二、 多くの人々が魅力を感じる「みどりの拠点としての碑文谷公園」』

『三、 若者も高齢者も住みたいと感じるみどり豊かな「閑静な住宅地の広がり」』

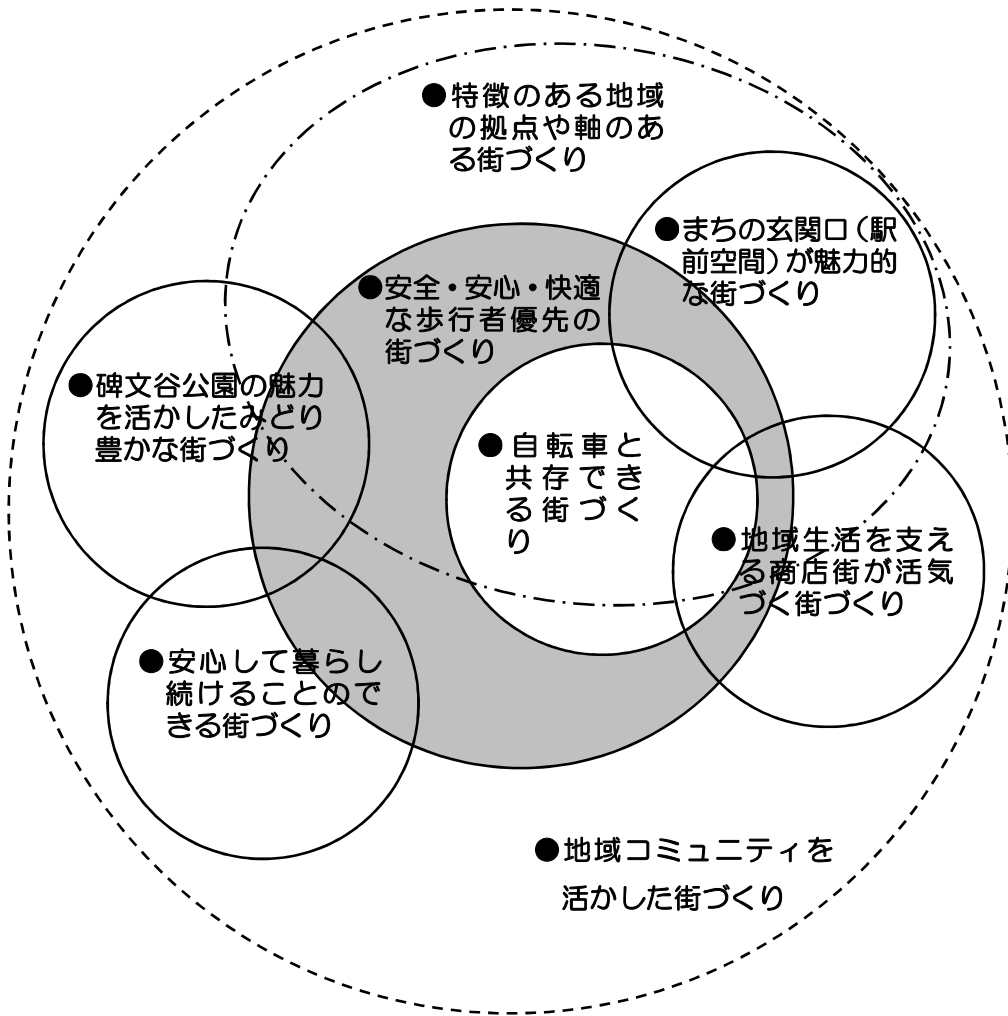
これらの資源が融合し、交通事故もなく、災害に強く犯罪のない“安全・安心なまち”の姿を、目指すべき地区の将来像として掲げます。

◆8つの街づくりの目標、3つ柱で街づくりの方針

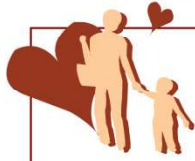
(街づくりの目標:地区の将来像を実現するための目標、街づくりの方針:「街づくりの目標」や「地区の将来構造」を実現するための街づくりの基本的な考え方や取組の方向性を示すもの)



これらの個々の目標は、下図に示すように互いに重なり、繋がる目標です。
重なりが大きな部分は、地区の将来像の実現にとって大きな意味を有しています。



◆学大商店街ルール



～学大商店街ルール～

地元可愛され、地元と会話のできる商店街にするために

学大商店街としてお客様を増やし、訪れる人々で賑わい活気づくために、各店主が協力して取り組んでいきましょう。

【きれいな商店街づくりのルール】

お客様の安全ときれいな商店街づくりのために、

1. 歩きたばこやたばこのポイ捨てをやめるよう呼びかけましょう。
2. ガムやごみのポイ捨てをやめるよう呼びかけましょう。
3. 店舗前の舗装が傷つき汚れないよう、店舗前の自転車駐輪などを自粛するよう呼びかけましょう。

【店舗づくりのルール】

魅力と活気ある商店街づくりのために、

1. 景観に配慮した店舗づくりを心がけましょう。
2. 建物の1階部分は、店舗・事務所として、商店街機能を維持しましょう。
3. 空き店舗は、商店街の街づくりのために協力しましょう。

【商品搬入のルール】

お客様が安全に安心して買い物ができるように、

1. 商品搬入等の車はパーキングを利用してもらうようにしましょう。
2. 駅前など道路上に商品搬入等の車を止めないよう呼びかけましょう。

【商品陳列のルール】

お客様が安全に安心して買い物ができるように、

1. 商店は道路上の看板や商品を自粛しましょう。
2. 道路上の看板や商品を自粛するよう商店に呼びかけましょう。

【自転車利用のルール】

お客様が安全に安心して買い物ができるように、

1. 「駅構内や歩行者が多いところでは自転車から降りてゆっくり押して歩きましょう」と呼びかけましょう。
2. 放置自転車を誘発しないよう、商店は従業員の自転車を駐輪場に止めましょう。
3. 商店は、各店舗前の自転車に気を配り、通行の妨げにならないように「極力、近くの駐輪場にとめてください」と呼びかけましょう。

【みんなのルール】

1. 商店は、商店会に加入し、街づくりに参加しましょう。
2. 地域の人々が、商店街の街づくりに一緒に取り組める関係づくりを心がけましょう。
3. 地域の人々も、商店街の街づくりに協力しましょう。

